

壁面緑化に今夏参入

高機能基盤材を活用 東京事務所開設

トーケン

小松精練（石川県能美市）グループの総合建設業、トーケン（同県小松市）は、環境緑化ビジネスを拡大する。高機能のセラミックス基盤材を活用し、壁面緑化事業に今夏参入する方針。首都圏での営業力を強化するため東京・銀座に事務所を開設した。パーティション（間仕切り）など多用途展開を図り、販売を強化する考えだ。（坂本正範）

環境ビジネス拡大

環境への関心の高さ、小松精練の染色工場から出る廃棄物を再利用した超微多孔構造の建材。乾燥に強い植物・セダムを植え、昨年五月から屋上緑化システム「グリーンピスG」として展開。保水性が高く水やりが不要で、高断熱性、不燃性、リサイクル可能ななどの機能を持つ。



トーケン本社で実験している壁面緑化システム「グリーンピスG」を開発した芝の屋上緑化材「いずれ」も石川県能美市で



環境への関心の高さ、小松精練の染色工場から出る廃棄物を再利用した超微多孔構造の建材。乾燥に強い植物・セダムを植え、昨年五月から屋上緑化システム「グリーンピスG」として展開。保水性が高く水やりが不要で、高断熱性、不燃性、リサイクル可能ななどの機能を持つ。

環境への関心の高さ、小松精練の染色工場から出る廃棄物を再利用した超微多孔構造の建材。乾燥に強い植物・セダムを植え、昨年五月から屋上緑化システム「グリーンピスG」として展開。保水性が高く水やりが不要で、高断熱性、不燃性、リサイクル可能ななどの機能を持つ。

夏をめどに商品化する意向だ。壁面緑化システムの植物は、基盤材を縦にしてもはがれにくいスナゴケを使用。上部に取り付けたチューブから水を流すと横に広がり基盤全体に流れる。吸水、保水が均等になるのが特徴。シンプルでデザイン性にも優れている。住宅、工場、店舗、ビルなど幅広い需要を見込んでいる。低価で提供する予定。屋上緑化では芝を使ったシステムも開発。基盤材の用途ではオフィス向け間仕切りや観賞用コンテナなどを検討し、多様なニーズに対応する。

三月からスタートした今期は緑化関連で二億円の売上高が目標。東京事務所を三月一日付で小松精練の東京事務所内に開設し、当面は実績づくりを急ぐ。根上健正社長は「環境事業は順調に推移している。壁面緑化は画期的な商品になると自信を持っている」と話している。